

1. 活動のテーマ

<テーマ>

動き 0歳児から1歳児
～模倣行動と上肢操作機能の発達（把持・回旋・操作・見立て遊び）～

<テーマの設定理由>

乳児クラスにとって、乗り物に「乗る」「揺れを感じる」「周囲の景色を見る」といった体験は、安心感の中で全身の感覚を育てる大切な機会である。
本活動では、三人乗り散歩車を用い、手製のハンドルでバスごっこを取り入れることで、移動の楽しさを感じながら体の揺れや動きを受け止める経験につなげることを目的とした。
ハンドルを握る、前を見る、保育者や友だちと同じ方向へ進むといった関わりを通して、体の動きだけでなく、気持ちの切り替えや友だちへの意識が自然に育まれると考え、テーマを「動き」として設定した。

2. 活動スケジュール

1. 散歩車と遊びの導入
 - ・三人乗り散歩車を見せ、「バスに乗ろう」「出発します」と声をかけ、期待感を高めた。
 - ・ハンドルに触れたり、座席に座ることで、散歩車に親しむ時間を設けた。
2. バスごっこをしながらの散歩
 - ・子どもたちは散歩車に乗り、ハンドルを握ったり、周囲の景色を見ながら散歩を楽しんだ。
 - ・保育者が「右に曲がります」「止まりまーす」と声をかけ、バスごっこを展開した。
3. 活動のふりかえり
 - ・活動後、クラス会議および職員会議にて、散歩車での子どもの様子や関わりについて共有し、振り返りを行った。 0.1歳児を中心に6月から3月まで活動を展開

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

準備した素材・環境

- ・三人乗り散歩車（ハンドル付き）
- ・安全に配慮した散歩ルート
- ・子どもが安心して周囲を見られるよう、ゆったりとした移動速度を心がけた。

活動中の子どもの姿

- ・ハンドルを両手でしっかり握り、前方を見つめながら「運転している」ような姿が見られた。
- ・散歩車が動き出すと、体の揺れに合わせて自然に姿勢を保とうとする様子があった。
- ・保育者の声かけに反応し、止まるときには動きを止めたり、再び動き出すと表情が明るくなる姿が見られた。
- ・友だちと同じ車に乗ることで、隣の様子を見たり、声を出して関わろうとする姿もあった。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 三人乗り散歩車は、乳児クラスが安心して移動の楽しさを味わえる玩具であり、体の揺れを通してバランス感覚を育てることにつながっている。
- ハンドルがあることで、子ども自身が「参加している」という意識を持ちやすく、バスごっこへの興味が高まっていた。
- 散歩車での移動は、歩行が安定していない時期の子どもでも無理なく「動き」を体験できる活動であると再確認した。
- 今後も散歩車を活用し、季節や行き先に合わせたごっこ遊びへと発展させていきたい。